

# 会 議 議 事 録

1 会議名	第10次第4回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	平成29年8月23日（水曜日） 午後2時から午後3時5分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>合計37名</p> <p>○審議会委員（15名）</p> <p>会長：馬場省吾 副会長：仁木正哉</p> <p>委員：田中暁美、小林美枝子、菊地紅子、牧野知津子、玉木康子、 笠井久子、榊原真知子、関さとみ、山田紀伊子、佐野ゆり江、 椀澤アイ子、南雲香苗、林隆生</p> <p>○事務局（22名）</p> <p>環境部長：若月和浩</p> <p>環境政策課 課長：宮島義隆</p> <p>環境施設課 課長：野口明夫 課長補佐：米山英人、武内豊</p> <p>総括副主幹：市野光敏 鳥越クリーンセンター所長：吉井義勝</p> <p>環境業務課</p> <p>課長：小林伸治、課長補佐：児玉清隆、総括副主幹：久保倉淳</p> <p>減量推進係長：広田高志、主査：多田通郎</p> <p>中之島支所市民生活課環境係長：宮部一雄</p> <p>越路支所市民生活課環境係長：鷺頭正一</p> <p>三島支所市民生活課環境係長：矢川睦</p> <p>山古志支所市民生活課課長：今井勇一</p> <p>小国支所市民生活課環境係長：峯村克夫</p> <p>和島支所市民生活課環境係長：高橋聡</p> <p>寺泊支所市民生活課環境係長：吉澤光彦</p> <p>栃尾支所市民生活課環境係長：仲野靖</p> <p>与板支所市民生活課環境係長：井村昭夫</p> <p>川口支所市民生活課副主幹：渡辺諒一</p>

5 欠席者名	委員：大島峰子、田中里美、加藤一平、桜井智恵子、丸山将範、渡辺道郎
6 議題	1 部長あいさつ 2 報告事項 ごみと資源物の排出状況等について ・平成28年度のごみ処理実施計画と実績 ・平成29年度長岡市一般廃棄物処理実施計画 3 議題 (1) 平成30年度年末年始一般廃棄物収集計画(案) (2) 長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画改定について 4 その他 (1) 長岡市災害廃棄物処理計画の策定について (2) 新たなごみ処理施設(中之島)の整備について 5 閉会
7 審議結果の概要	第10次4回目の審議会。平成30年度年末年始一般廃棄物収集計画(案)及び長岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(骨子案)等について意見を伺った。事務局が策定した年末年始のごみの収集計画(案)、ごみ処理の実績・課題及びごみ処理基本計画(骨子案)等が承認された。
8 審議の内容	
会長	・若月環境部長あいさつ ・資料確認  報告事項について事務局からの説明をお願いします。
環境業務課課長	(報告事項について資料1、資料2により事務局説明) (燃やすごみ用のマチ付ごみ袋のサンプルを委員に確認いただいた)
会長	マチ付のごみ袋は、大きさの種類が幾つかなかったか。小さいのもマチ付きがいいという意見が出て、ここで皆さんに見ていただいたと思うがどうか。
環境業務課課長補佐	サンプル(中サイズ)よりも小さいサイズ(小・極小サイズ)のものも作ります。
会長	マチ付きだと(ごみを入れたときに)倒れない。破れそうだという意見もあったが、これだと大丈夫。 資料1、資料2について何かご質問等はあるか。 前回、資源物持込みの支援活動促進事業ということで、市民に代わり資源物を持込む団体をお願いするというので、どのような団体なのかという質問があったが、これに関して何かあるか。
環境業務課課長補佐	まだ今のところ模索している段階です。越路地域と小国地域で、福祉団体等に当たっていますが、状況が変わる可能性とまだ要綱作成の段階であり、もうしばらく時間がかかると思います。

会長	よろしいでしょうか。
委員	なし。
会長	ありがとうございました。 それでは、次の議題に移りたいと思います。次第の「3 議題」の「(1)平成30年度年末年始一般廃棄物収集計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。
環境業務課課長	(議題(1)について資料3により事務局説明)
会長	何かご意見、ご質問等がありますか。
委員	異議なし。
会長	それでは、この計画のとおりに進めていただきたいと思います。 続きまして、次第の「3 議題」の「(2)長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改定について」事務局から説明をお願いします。
環境業務課課長	(議題(2)について長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（骨子案）により事務局説明)
会長	何か、ご質問等がありますか。
委員	リサイクル率が低下しているという説明があったが、枝葉・草の収集量が減少しているのは良いことだと思うが、新聞・雑誌・チラシの収集量が極端に減った原因は把握しているか。
環境業務課課長補佐	新聞の発行部数が軒並み少なくなっています。今は、ネット社会になっており、書籍類の販売も減っています。こうしたことが一因かと考えています。
委員	全国的に廃棄物の中で古紙や段ボールは、相場が下がっていない。それで儲かるということで、全国的な動きとしてアパッチ(無断持ち去り)回収というか、拠点で抜き取るという動きがあり、県内でも新潟市あたりでそれが問題になっていると聞いた。長岡市は、まさかないと思っているが。新聞は比重が0.3くらいだが、古紙は結構大きくて0.4か0.5くらいであり、金属は安くなったが古紙は相場が上がっている。 長岡市が把握していない部分で、抜き取り行為や勝手に業者が町内会を回って集めているという話もよく聞く。そういう理由でこれだけ減ったのではないかと思っているが、いかがか。
環境業務課課長補佐	様々な要因があると思いますが、この古紙に関しては、専ら物（専ら再生利用の目的となる廃棄物）でもあるので、そういう指摘もあろうかと思いますが、抜き取りについてはパトロールで、できるところは回っています。 また、市民からそういう行為をしている人がいるのでは、という通報があるのも事実だが、社会全体のトレンドからして、全体に書籍類の発行部数が減っているというのが大きな要因と考えており、抜き取りだけでこれだけ減るとは考えられないと思っています。

委員	わかりました。ありがとうございました。
会長	平成39年度までの達成目標値が21ページにあり、この先10年間の達成目標数値は、市民1人当たり排出量では884グラムと設定されている。6ページでは、平成28年度が884グラムと数値的に同じだがどういうことか。
環境業務課 課長補佐	<p>会長のご覧になっているところ（21ページの数値）は、現状の数値です。ここから予測式を用いてトレンド予測を行います。予測結果をみて、どの予測式が一番長岡市の現状に合っているかを判断し、そこにごみ減量等の施策を反映し目標値を設定します。その目標値がこの実績値の右側に入ります。先程、課長が説明したとおり、10年計画を5年毎に見直していきます。</p> <p>生ごみの回収が始まって、ごみの有料化も終わっているのですが、長岡市としては、特に大きな変更は今のところ制度的には考えにくい状況です。こうした中で、人口減や努力減、長岡市の啓発活動等も考えて、トレンド予測が一次関数みたく減っていくことも考えにくいです。いくつかの予測の方法を当てはめて、これから考えていくところです。</p>
会長	他に気になる点などはないか。
委員	<p>新聞のリサイクル率が悪いと言われたが、前もお話したと思うが、業者が（各家庭を）回ってきて（新聞等の古紙収集と交換に）トイレットペーパーを置いていく。同じ新聞や雑誌を長岡市の収集に出しても、そういう交換は全然なく、逆に新聞紙にチラシが混ざっていたりすると収集してくれない。</p> <p>ところが、業者は雑誌・新聞・チラシを（まとめて）縛っておけば、かまわずに全部持って行ってくれる。そういうことが、リサイクル率が下がる原因の一つになっているのではないか。</p>
環境業務課 課長補佐	<p>なかなか難しいが、できれば新聞は新聞、その他のものはその他のもので分別した方が、リサイクルする際により都合がよいです。古紙類の分別をしっかりして回収することになっているので、面倒をおかけしますが、雑紙類は雑紙類で分別して回収しているのが現状です。</p> <p>専ら物は、誰でも集められるものですが、そこに今まで廃棄されていたものを長岡市が資源回収やステーション回収を始めたり、子供会等の資源物の回収に奨励金を出したりして、回収量を少しずつ増やす努力をしているところです。もう少し見守っていただければ、と考えています。</p>
会長	<p>他に何か質問はないか。</p> <p>この議題については、次回の審議会でもまた審議していただきたいと思います。まだ時間もありませんので、これを見直していただきまして、次回の審議会のごときにご質問等があればいただきたいと思います。</p> <p>それでは、今日の審議はこれで終了となりますがよろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
会長	ありがとうございます。それでは、進行は事務局の方にお返しします。
環境業務課 課長補佐	<p>馬場会長ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の「4 その他」の「(1)長岡市災害廃棄物処理計画の策定について」をご説明いたします。</p>

環境施設課課長	(その他(1)について資料4により事務局説明)
環境業務課 課長補佐	ただいまの説明について、何か質問等がありますか。
委員	なし。
環境業務課 課長補佐	それでは、続いて「(2)新たなごみ処理施設(中之島)の整備について」 をご説明します。
環境施設課課長	(その他(2)について資料5により事務局説明)
環境部長	<p>補足説明すると、平成10年に完成した寿ごみ焼却施設は、80トンの炉が2つあり、昭和61年に完成した鳥越ごみ焼却施設は、75トンの炉が2つあります。新たな施設の整備で、ごみ焼却施設が3つになるわけではなく、中之島に新施設を整備したら、鳥越ごみ焼却施設を廃止するので、2施設でのごみ焼却処理となります。</p> <p>今、鳥越ごみ焼却施設で150トン进行处理しているのが82トンで済むのは、先程の話のとおり、市民の皆さんがごみの減量に取り組んでいただいたおかげで減っているため、大きい施設を造らなくてもよくなりました。お金も使わなくてよくなり、1つの成果に繋がったということで、今後、市民の税金を使っていく中での有効活用に繋がっていると思います。本当に感謝しています。</p>
環境業務課 課長補佐	ただいまの説明について、何かご質問等がありますか。
委員	なし。
環境業務課 課長補佐	<p>それでは、予定していた内容については以上になります。次回は、11月の開催を予定しておりますので、それまでに一般廃棄物(ごみ)処理施設基本計画について何かお気づきの点等がございましたら、事務局までいつでも聞かせください。</p> <p>以上をもちまして、第4回の審議会を閉会させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。</p>
9 会議資料	別添のとおり